

災害に強く市民が安心し、希望をもって生活できるまちを目指して



などがあり、流動的な状況だが、早めに情報をキャッチし、臨機応変な対応をお願いしたい。

また、今回ワクチン接種を円滑に推進

・勝立・四箇の4つであるが、延命配水池以外は耐震化済みであり、延命配水池についても更新・耐震化工事に着手しており、令和4年度には耐震化率100%となる予定。

基幹管路については、延命配水池の更新と併せて耐震化を行っており、令和4年度の耐震化率は約41%となる予定。

今後も、計画的・効率的に更新し、耐震化を行いたい。

新型コロナウイルス対策

問 本市における新型コロナウイルスワクチン接種の現時点でのスケジュールは。

答 ワクチン接種は、2月17日から国立病院機構などの医療従事者を対象に先行接種が開始され、その他の医療従事者にも県内は3月5日から接種開始と報じられたところ。

65歳以上の高齢者の優先接種は、4月12日から開始とスケジュールが示されているが、ワクチンの配布量が限られる見込みであるため、確保できた量に合わせ徐々に接種者を増やすことになると考えている。

以降は、基礎疾患のある方、64歳以下の方など、国の示した優先順位に従い、接種対象を広げていく。

なお、接種は無料であり、市民負担はない。

現在は、大牟田医師会と接種を円滑に進めるための協議をしながら準備を進めており、今後準備が整い次第、市民に情報をお知らせしていきたい。

再発言 ワクチン製造の状況

するため、プロジェクトチームを設置されたが、前代未聞の国家的一大プロジェクトであり、大変だと思うが、よろしくをお願いしたい。

防災・減災・インフラ強靱化

問 所管委員会に報告された地域強靱化計画の趣旨、考え方について聞きたい。

答 国・県の国土強靱化計画、及び7月豪雨災害を踏まえ、安全・安心な地域経済社会の構築に向けた地域の強靱化を推進するため、大牟田市地域強靱化計画を策定したもの。



問 水は生きる上で最も大切であり、自然災害が起きても途絶えてはいけない。本市の浄水施設、配水池及び水道の基幹管路の耐震化の現状は。

答 市内のありあけ浄水場は既に耐震性能を有している。

また、配水池は延命・甘木

デジタル社会の実現への取組

問 「若者が夢をもって働くまちづくり」を目指し、イノベーション創出の拠点整備と支援ネットワークの構築が新年度事業に掲げられているが、これには行政の関わり方が重要と考えるが、市長の考えは。

答 地域にイノベーションを創出するため、市内外からの垣根を超えた人・企業を呼び込み、活潑な交流を促し、新たな連携やチャレンジによる新しい価値を生む環境が必要。

このため、中心市街地エリア内に貸しオフィスやコワーキングスペースなど、複合的な機能を持つイノベーション拠点の整備を図りたい。

また、市・経済団体・地元金融機関・教育機関などによる支援ネットワークを構築し、産学官金が連携した新たなイノベーション創出を図りたい。

再発言 新たな目標・希望を持って、若い人たちが大牟田で働くことができるよう、事業の成功に努められたい。